

長野県の一市中病院における補完代替医療に対する職員の意識調査

An opinion poll of the personnel to the complementary and alternative medicine
in one in-the-city hospital of Nagano.

八重樫弘信

中信勤労者医療協会 塩尻協立病院 内科

The consciousness to the complementary and alternative medicine (CAM) in medical workers was investigated. The self-entry formula questionnaire survey about CAM was conducted. The number of the personnel for investigation was 123, and obtained the effective reply from 116 persons. It was 11% which answered "It is" to the question "whether the word "CAM" has been heard."; by medical doctors 67%(2/3 persons), pharmacists 0%(0/6), nurses 16%(5/51), the care workers 10%(4/25), physiotherapists, occupational therapists, and a masseur 25%(2/8), dietitians and chefs 0%(0/7), and clerks 0%(0/13). CAM is carrying out by 78 persons(67%). Contents of CAM were massage(33%), use of supplements(28%), Kampo medicine(23%), acupuncture(14%), chiropractic(11%), and aromatherapy(10%). Although the language itself called CAM was seldom known in our hospital, many workers are carried out the acts actually considered that is CAM.

【目的】

医療従事者における補完代替医療（以下 CAM）に対する意識を調査した。

【方法】

2004 年 7 月 1 日から 14 日にかけて、当院職員に対して CAM に関する自己記入式アンケートを行った。

【結果】

調査対象職員数は 123 人で、アンケートの回収率は 96.7%(119 名)であり、116 名から有効回答を得た。

「CAM という言葉を聞いたことがあるか」という質問に対して、「ある」と答えたものが 11%、「ない」と答えたものが 85%であった。「ある」と答えたものを職種別にみると、医師で 67%(2/3 名)、薬剤師で 0%(0/6 名)、看護師で 10%(5/51 名)、介護福祉士・看護助手で 16%(4/25 名)、理学療法士・作業療法士・マッサージ師で 25%(2/8 名)、栄養士・調理師で 0%(0/7 名)、事務職員で 0%(0/13 名)であり、職種による違いが認められた。

また、年齢別にみると、20 歳代では 7%(3/42 名)、30 歳代 12%(4/34 名)では、40 歳代では 14%(4/28 名)、50 歳代では 17%(2/12 名)が「ある」と答えており、年代が高くなるにつれて CAM という言葉が知られている傾向にあった。さらに男女別にみると男性 17%(4/24 名)、女性 10%(9/92 名)と、男性の割合が高かった。

CAM の利用の経験があるものは 78 名(67%)あり、CAM という言葉を聞いたことがない者でも CAM と意識せずに CAM を利用していた。CAM の内容としては、マッサージの利用者が最も多く 38 名(33%)、次いで栄養補助食品の利用者が 32 名(28%)、漢方薬 27 名(23%)、鍼 16 名(14%)、カイロプラクティック 13 名(11%)、アロマセラピー 12 名(10%)の順であった。

【結論】

当院職員においては、CAM という言葉自体はあまり知られていないものの、実際には CAM とみなされる行為を実施している者が 3 分の 2 にものぼることがわかった。